

ジェラートワールドツアーにて県産牛乳のPRと「いせはら地ミルク」販売

日本で最も好まれるジェラートを選ぶ国内最大級のイタリアンジェラートの祭典「ジェラートワールドツアー」が、令和元年8月31日（土）～9月1日（日）の二日間に渡り、横浜港大さん橋ホールにて開催されました。イベントを後援した県のブースを「かながわ酪農活性化対策委員会（事務局：神奈川県酪農業協同組合連合会）」が借り受け、県産牛乳100%認証制度をPRするとともに、「いせはら地ミルク」300本を販売して県産牛乳のおいしさを来場した皆様に味わっていただくことを当所が支援しました。

県産牛乳のマップや商品を紹介するチラシを配布するとともに、県産牛乳100%認証制度のマークでもあるキャラクターのカナミルクんの着ぐるみも出動し、人だかりができるほど会場の注目を集めました。酪農振興グッズであるミルククラウンを模した紙帽子を無料配布したところ、会場の多くの子供たちがミルククラウン帽子を被って歩いてくれるので、「あれが欲しい」という子供たちが殺到し大いに県産牛乳のPRにつながりました。

「いせはら地ミルク」の販売については、横浜地域では知名度が未だ低いということもあり、地元である伊勢原市内のイベント販売とは違って、当初はなかなか売れないという苦労がありました。しかしながら、生産者自らが熱心に商品PRを行い、ビンの蓋に専用ストローをさして飲みやすい形で商品を提供するなど工夫をすることで、行列ができるほど売れ行きが向上し、イベント2日目の15時には300本を完売しました。商品を飲んだお客様からは、「本当においしかった」、「また飲みたい」、「どこで買えるのか」と高評価をいただきました。実際に2日間のイベントで4回も買いに来ていただいた方もいました。当所では、こうした消費者評価を乳業メーカーにつなぎ、よりよい商品づくりや今後の販売促進につながるよう引き続き支援してまいります。



いせはら地ミルク販売ブース



県産牛乳をPRする生産者とカナミルクん



商品の説明をする生産者と「いせはら地ミルク」を求める消費者

備考

当日、県産牛乳のPR活動を行ったのは、いせはら地ミルク生産酪農家2名、伊勢原市役所、伊勢原産牛乳プロジェクト応援団（県民）、神奈川県酪農業協同組合連合会、（一社）神奈川県乳業協会、全農かながわ、畜産課、湘南地域県政総合センター、湘南家畜保健衛生所、当所です。